

ぶらりと 病院探訪

上越総合病院

人にやさしく 地域に開かれた病院を目指して

患者さまの一日も早い回復をめざして、私たちはいつも全力をつくします。地域社会の健康と活力の回復に向かって、医療を通じて貢献できるように全力をつくします。

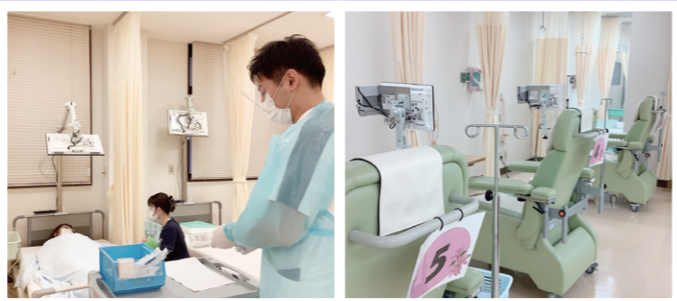
この病院でくりひろげる営みが、地域の皆さまに希望をもたらすことを私たちはいつも望んでいます。

地域連携センター



患者さまが安心して入院生活がおくれるように、患者さまの視点で入院から退院までの見通しがつような説明を心がけています。また、家族や仕事、治療、退院後の事まで思いを馳せている患者さまの気持ちを大切に外来部門、病棟部門と連携をはかっています。

化学療法センター



外来化学療法室では、主に外来通院をする患者さまの抗がん剤治療を行っています。点滴治療中の患者さまに多職種で関わり、患者さまがより安心して治療を継続できるようにサポートしています。

スマイル保育所



「スマイル保育所」は敷地内に併設しています。安心して働くことができるように環境を整え、よりよい医療と看護の提供に繋がっています。

年間行事予定

- 4月 ● 進級会、お花見遠足
- 5月 ● こどもの日の集い、交通安全教室
- 6月 ● 健康診断、虫歯予防デー
- 7月 ●七夕会、水あそび(～8月)
- 8月 ● 夕涼み会、懇談会
- 9月 ● お月見会、敬老会
- 10月 ● 収穫祭、音楽会
- 11月 ● 健康診断、働く人にありがとうの日
- 12月 ● クリスマス会
- 1月 ● 新年お楽しみ会、個人面談
- 2月 ● 豆まき、みんな大好き会
- 3月 ● ひなまつり、お別れ会

進級式

夕涼み会



看護部のご案内 2023



Joetsu General Hospital

上越総合病院



新潟県厚生農業協同組合連合会

上越総合病院

〒943-8507 新潟県上越市大道福田616番地

TEL 025-524-3000

FAX 025-524-3002

<https://joetsu-hp.jp/>

上越総合病院

検索



みなさまの健康と心の支えに

JA新潟厚生連

看護部の
理念

患者さまお一人おひとりを大切にし、やさしい看護を提供します

特定行為研修を受講しています。

専門的知識を生かした看護師を目指して

江口 祐希

私は、上越総合病院特定行為研修の4期生として研修を受けています。専門的な知識をもって迅速な対応ができる看護師を目指し受講を決めました。業務との両立は思うように学習が進められず焦ることがありますが、励ましてくれる看護師長や研修を修了した仲間たちがいます。知識を得ることはとても楽しいです。重症患者の望みに応えられるように頑張っています。



多職種で連携し、チーム活動に取り組んでいます。

NST専門療法士を取得して

関川 智恵

NSTとは栄養サポートチームのことです。栄養は口から摂るもの・・・と思いがちですが、私たちNSTは、患者さまの疾患や病状に合わせて、経口、経鼻胃管、胃瘻、点滴などから、適した栄養剤、嚥下状態と食事形態、必要な内服薬の検討などを医師、看護師、栄養士、薬剤師、言語療法士の多職種で話し合っています。

私はNST専門療法士として患者さまに一番近くで接し、食事摂取や排便状況、体重の変化などを観察し、栄養状態が低下しないよう視野を広げて患者さまを看ることができるようになりました。多くの看護師が、栄養への意識をもち、よりよい看護が提供できるように活動していきたいと思っています。



骨粗鬆症チームの取り組み

竹内 朝子

骨粗鬆症チームでは、医師、看護師、薬剤師、理学療法士、ソーシャルワーカーなど多職種で二次性骨折予防に取り組んでいます。現在は大腿骨骨折の患者さまを対象に、入院から退院後の外来フォローを行っています。

私は令和4年に骨粗鬆症マネージャー資格を取得し、骨粗鬆症外来で患者さまの生活面や運動面、薬に関する提案、指導を行っています。これからも新しい情報を得て、患者さまに提供していきたいと思っています。



看護部の紹介

「地域のニーズに応えられる自律した看護師」

患者さま中心の良質で安全な看護の提供に努めています。また、地域の生活者である患者さまに対して、必要な看護は何かを多職種とともに考えられる看護師の育成に力を入れています。



新人教育体制

「プリセプター制度」を採用しています。

新人教育研修対象者は、卒後1～3年としています。それぞれのプリセプター・アソシエイト・実地指導者が3年間サポートします。

新人1年目看護教育研修(年間プログラム)

- 4月 ● 新人職員オリエンテーション
- 基礎看護技術
- 医療安全・感染管理
- BLS
- 接遇・コミュニケーション
- 薬剤の種類・用法の理解と副作用
- ME機器の取り扱い
- 褥瘡対策
- 5月 ● 夜勤オリエンテーション
- 6月 ● 優先順位の考え方
- ピアサポート研修(振り返り研修1)
- 7月 ● 夜勤シャドウイング
- 8月 ● 看護過程
- 10月 ● ピアサポート研修(振り返り研修2)
- 11月 ● 人工呼吸器看護
- 12月 ● 退院支援
- 1月 ● 「私の看護観」発表
- 2月 ● フォローアップ研修



上越総合病院概要

| | |
|------|--|
| 病床数 | 313床 |
| 診療科目 | 26科 |
| 併設施設 | ●介護老人保健施設「アルカディア上越」 ●地域連携センター ●上越総合病院健診センター ●訪問看護ステーション「テンドー上越」 ●居宅介護支援事業所 |
| 職員数 | 666名 |

看護部概要

| | |
|------------|--|
| 看護要員数 | 総数 329名 |
| | 看護職 294名 |
| | 看護・介護補助者 35名 |
| 看護単位(10単位) | ●急性期一般病棟 ●集中治療病棟 ●外来・透析 ●手術室 ●地域連携支援部 |
| 看護体制 | 3交代 |
| 看護提供方式 | 固定チームナーシング |

Message

看護部長からのメッセージ

笑顔のあるところに人は集まる

看護部長 浅井 千代子

専門職として働き続けられる職場環境を整備し、地域の皆さまのお役に立てる、地域の皆さまに選ばれる病院でありたいと思っています。卒後教育の充実を図り、「看護を語る」人材育成を目指します。私たちと一緒に、地域を支える一員になりませんか？あなたの「笑顔」と「免許」を上越総合病院で活かしてください。



Message

先輩看護師からのメッセージ

「新人看護師として感じること」

高橋 萌美

私は新人看護師として上越総合病院で働き始め、一年が経過しました。

私の勤務する病棟は神経内科と呼吸器内科の混合病棟で、急性期から終末期までさまざまな状態の患者さまを看ています。入職した頃は出来ない事ばかりでしたが、先輩方に丁寧に指導していただき、今では出来る事が増えました。また患者さまの回復を身近に感じ「ありがとう」と感謝を貰えることで自信もつき、日々働く中でやりがいを感じています。

不安なことやわからないことをすぐに周りに相談でき、チームで患者さま一人ひとりと向き合い多職種とも連携しながら必要な支援を考えており、チームワークの良い職場であると思います。

今後も知識や技術を磨き、チームの一員として患者さまにとってより良い看護ができるよう努力していきたいと思っています。



「仕事と育児の両立を叶えられています」

小林 愛美

病棟勤務を経て産休明けより外来で勤務しています。初めての外来勤務は、病棟と異なる業務が多く一から学び働いてきました。その中で疾患を抱えた方が地域で暮らしていくために、看護師としてできることは何か、考えることにやりがいを感じながら仕事ができている。

忙しい毎日ですが、院内の保育園を利用してもらいながら仕事と育児を両立しています。職場は子育てをしているスタッフが多く、勤務調整など相談しやすい環境です。これからも仕事と育児を両立しながら、看護師としてのスキルを高めていきたいと思っています。

